

## 職員向け 児童発達支援評価表

事業所名：ととのキッズ（児童発達支援）

職員数：9名 回収数：9名 回収率：100%

調査期間：令和5年2月6日～3月10日

公表日：令和5年22日

◎ この「事業者向け 児童発達支援自己評価表」は、児童発達支援に配置する職員で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	夫している点、課題や改善すべき点など	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1	0	0		・利用定員数に対して、十分に広いスペースになっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	3	0	1		・4名の保育士に加えリハビリ専門職2名を配置しています。職員の急な休みの時は、多機能型事業所での他事業所の協力のもと見守りなどのサポート体制をおこなっています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	0		・療育室はバリアフリーになっており、状況により隣室の、別単位の児童発達支援の共有トイレを利用しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1	0	0	・療育室は広さを確保できないので、その中でもできる運動を考えた安全を考慮したスペースを考えている。	・療育前および営業終了時には、必ず室内のマットや玩具等の消毒を毎回実施しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1	0	1		・月に1回は、リハビリ・保育士のリーダーで構成した業務会議を設け課題と改善を明確にしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対し、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	0	0		・年に一度、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設けていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	1		・年に一度、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設け、その後ホームページに掲載するように努めています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0	2	3		・第三者による評価については、必要性を十分に実感しておりますが、評価の実施に至っておりません。次年度の取り組み課題として受け止めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	0	・法人全体・事業所内・セラピスト内でもできるだけ障害に対する見聞が広がる様、発言・質問している。	・毎週セラピスト勉強会を行い、また、定期的（月1回）に事業所内研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	1	0	0		利用開始前には主にCOPM評価を用いています。保育園・幼稚園での聞き取り、医療機関の情報収集を行い、個別支援計画を作成しております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	1	・発達障害（SLD）に対する評価表を使ったり、必要に応じたWISC、WPPSI等発達検査を行っている。	・担当の作業療法士が発達個性に応じたアセスメントツールを実施しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	1		・発達支援に加えて、保護者のニーズにこたえる家族支援、地域との連携も視野に入れた作成に努めています。
適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0		・支援開始前に、個別支援計画の職員周知に努めています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	0		・月初めに、翌月の活動プログラムの立案を話し合う機会を設けています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	0	0		・活動計画は、特別な場合を除き別単位の児童発達支援の計画を参考にしております。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	0		・発達課題に応じた集団療育が実施されています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	0	・朝早くから来所される子どもおり、できない時もある。	・児童発達支援と放課後等デイサービスを、一体的にサービス提供しているため、朝礼ミーティングは毎日実施しています。職員全員集合や十分な時間が取れず伝達の工夫を随時検討しています。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	夫している点、課題や改善すべき点など	改善目標・工夫している点

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	0	0	・退勤時間がバラバラでできないことが多い。 ・すべてのスタッフと行うことが難しいが児発管とは必ず話をする時間をもつようになっている。	・支援終了後には各リーダーと児発管は共有する時間を持つようになっています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	0		・毎日経過記録を記載しています。課題発生時は上司や管理者との共有に努めています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	0		・個別支援計画更新時には必ずモニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	1		・会議の検討項目に応じて最も適した専門職（児発管・保育士・看護師）が会議に出席できるようにしています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	1		・利用児のかかりつけ医療機関との情報共有をおこなっています。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	0	0	・接触について病院担当STと情報共有し、支援を各々で何をするか等、電話で連携をしている。	・受診時には、児童発達支援での経過記録を保護者に持参いただけるように文書を作成し渡すようになっています。また、必要に応じて医師の意見を情報収集いただくように保護者に働きかけています。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	1	0	0		・同上
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	0	0	・新規受入れ時に園へ訪問して情報共有している。また、時間が取れない（相方の都合）場合は電話で行う。	・特別支援学校・保育園・認定こども園に対して情報共有及び相互理解を深める機会を実施しました。引き続き努めていきたいと思っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	0	1	・直接ではないが、来春入学児をもつ保護者さんへ学校での留意点をまとめてお渡ししたこともある。	・同上
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	2	2		・現時点では研修の実施に至っておりません。次年度の取り組みとして計画していきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	1		・同一法人内に保育園が設置されています。協働してチューリップの球根を植えたり、一緒に散歩にいたり交流の場を設けております。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	1	5		・子ども部会の研修に参加しております。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	1	・園への送迎をしている子どもさんの保護者へは連絡帳を通じて行っている。保護者からの疑問や不安へは出来るだけお答えしている。	・保護者とは毎日の来所時に情報共有に努めております。また課題発生時には児発管、管理者との共有をおこなっています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	1	1	2	・連絡帳を通して行っている。必要ならまとめて報告書を行っている。	・連絡帳を通して情報共有や発達支援を行っています。また希望者に対しては対面での相談も受けており、来年度も引き続き実施していきたいと思っています。
保護者の説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	1		・契約時および重要事項変更時に説明するように努めております。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	1		・発達支援、家族支援、地域支援に分けて説明をおこない、同意を得るようにしています。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0	0		・連絡帳を通して情報共有や発達支援を行っています。また希望者に対しては対面での相談も受けており、来年度も引き続き実施していきたいと思っています。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	0	1	・コロナでなかなかできなかったが、今年度は実施できた。 ・密にならないよう、また生活年齢に応じたニーズにこたえるため2回に分けて行った。	・今年度は運動会や情報交換会などの保護者会を実施しました。次年度も引き続き計画していきたいと思っています。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	夫している点、課題や改善すべき点など	改善目標・工夫している点
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	0	・園との間で悩まされている保護者に対して保育所等訪問で対応。また、発達検査を通じ、悩みに応じ相談支援を受け入れている。園の都合（行事）に併せ曜日変更を迅速に行った。	・相談内容に応じて専門職の面談対応に努めています。現状では、管理者、児童発達支援管理責任者もしくは作業療法士が対応いたします。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	0	1		・月に1回、児童発達支援事業所のお知らせを発行しています。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	0	0		・事業所利用開始時に個人情報取り扱いの同意書を作成し、それに沿った運用をおこなっています。発信前のダブルチェックの仕組みを作っております。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	0	・子供にも保護者にも専門用語を用いず分かりやすく心がけている。特に子供には簡潔に区切りながら指示をだしていく。	・出来るだけ個別にて情報を伝達しています。必要性に応じて視覚支援や文書での疎通を図るように努めています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	1	2	・コロナの影響が少なくなければできるのではないと思われる。 ・お話し会や信号電材などのボランティアに来て頂いている。	・感染対策に留意しながら、可能な行事活動の計画立案に努めております。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	0	0		・各マニュアルは事業所内玄関ホールに設置し、皆様が閲覧できるように整えています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	0		・毎月、別単位の児童発達支援の児童とともに防災訓練に参加しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	0	0		・頓服薬につきましては、お薬預かり証を交わして管理しています。また必要に応じて協力医療機関の医師にたずねる体制をもっております。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	0	0		・おやつ提供については、利用開始前にアレルギーについての文書での聞き取りを保護者に対しておこなっています。医師との連携については給食においてのみ（児童発達支援）主治医師より情報提供書を作成、連携していただき事業所協力医師が法人内管理栄養士（厨房）に指示を出しております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	0		・ヒヤリハットは全て事業所内でふりかえり・反省・課題・対応策を共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	0	・虐待と思わず行っていることはないか常に行動・行為に自問している。	・虐待・人権委員会の設置と、年に2回の研修を実施しています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	1	0	0	・組織的に決定する流れはできているが、身体拘束に該当する児童がいない	・やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、管理者はその必要性について法人内の医療安全委員会にて上申し、協議をおこなっています。その結果、個別で保護者面談をおこない、方針を説明をし、身体拘束における同意書を作成する仕組みとなっています。	

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。